まちの話題

3 団体が絵画を寄贈

西原町建設協力会（宮里佳斉会長）、西原町電設会（塩川實隆会長）、西原町管工事協同組合（渡口彦武理事長）の 3 団体が、西原町役場新庁舎の完成を記念して絵画を寄贈しました。寄贈された絵画は、画家の仲本京子さんが制作した「さわふじの郷」という絵です。3 団体から制作の依頼を受けた仲本さんが、西原をテーマに描いた作品です。

7 月 4 日には絵画の寄贈式を行いました。仲本さんは 12 歳から約 10 年西原に住んでいたとのことで「思い出深い土地を描く機会を与えられ、とても嬉しい。たくさんの人物を描いているので、絵の中の誰かになった気持ちで見て楽しんでほしい」と、絵に込めた思いを語りました。

この絵は、西原町町民交流センター（西原町役場）の町民広場に設置されています。

絵を制作した仲本さん（左から 3 番目）

宮城さん、自身の絵画を寄贈

西原町文化協会会員（美術工芸部会）で画家の宮城信八さん（字我謝在）が、西原町役場新庁舎の完成にあたって自身が描いた油絵を西原町に寄贈しました。「夕立のあと」というタイトルが付けられた絵は P100(1620×1120mm) サイズのもので、宮城さん自身が見た海の光景をもとに、創作が組み合わされて描かれています。

宮城さんは「日々建っていく庁舎を眺め、心から楽しみにしていた。この庁舎をきっかけに西原町、沖縄県がこれから変わっていくと期待している」と、寄贈にあたっての思いを語りました。

この絵は、西原町町民交流センター（西原町役場）の町民広場に設置されています。

絵を寄贈した宮城さん（左）

小波津団地自治会が放送設備などを整備

宝くじの普及事業である「平成 26 年度コミュニティ助成事業」の助成を受け、小波津団地自治会（國仲昌夫会長）が、自治会で利用する設備などの整備を行いました。同自治会では助成事業を活用し、広報用の放送設備や行事等で使用する音響備品などを揃えました。

國仲会長は「子や孫たちのための住みよいふるさと作りを目指して自治会運営に取り組んでいる。設備や備品が整備され、自治会活動はもちろん、婦人会、青年会、子ども会、老人会などの活動をさらに活発にしたい」と喜びを語りました。

西原南クラブ（女子バレー）が初の県制覇

6 月に開催された「第 34 回全日本バレーボール小学生大会沖縄県大会（女子）」で、西原南小学校を拠点に活動している西原南クラブが初優勝しました。この結果、8 月に東京都で開催される全国大会に出場します。キャプテンの武富陽香さん（6 年）は「目標であった県大会優勝を果たせて、とても嬉しい。全国大会に向けて練習に励みたい」と抱負を語りました。

安次富さんが匠の技を寄贈

西原町役場新庁舎の完成を記念し、安次富実さん（比嘉工業株式会社 事業本部西原工場長）が、自身が作成した作品を西原町に寄贈しました。

安次富さんは溶接の技術者で、平成 16 年には県内で唯一、九州溶接マイスターの称号を授与されました。今回贈った作品は、「鋼の壷」と「鋼の獅子」の 2 点。安次富さんが溶接技術を駆使して作った、「匠の技」でできたものです。

作品を寄贈した安次富さん（右から 3 番目）

このように卓越した溶接技術を持つ安次富さんは、自身の技術を「会社が自分の後押しをしてくれたおかげ」と語り、笑顔で自身の品を贈りました。

七夕で読み聞かせ「あっとーめーのささやき」を開催

七夕にちなんだ読み聞かせイベント「第 12 回あっとーめー（お月さま）のささやき」（読みあいネットワーク喜楽星 7 主催）が、7 月 5 日に西原町立図書館で開催されました。

絵本の読み聞かせでは、楽しい物語に子どもたちの視線が釘付けになりました。また、歌に合わせた手あそびやオカリナサークルによるミニコンサートが披露されました。イベントに参加した親子連れなどが、オカリナの奏でる美しい音色に耳を傾け、イベントを満喫しました。

男女共同参画月間にパネル展とテニス大会

西原町は毎年 6 月を男女共同参画月間として定めており、男女共同参画社会の実現に向けた各種事業に取り組んでいます。

男女共同参画社会について広く知ってもらうため、6 月 24 日から 31 日の日程で、西原町町民交流センターの町民広場でパネル展を開催しました。

パネル展を開催

また、テニスを通して男女が支えあい、対等な協力関係の構築を目指すことを目的に「第 9 回西原町長杯さわふじミックスダブルステニス大会」（西原町テニス協会主催）が、7 月 6 日に西原町営テニスコートで開催されました。大会参加者は、男女がダブルスのペアを組んで試合をするミックスダブルス競技を楽しみました。

西原町長杯さわふじミックスダブルステニス大会

読み聞かせメンズデーを実施

西原南小学校で読み聞かせ活動を行っているボランティアサークル「パステル」（津波古和代表）が、すべてのクラスで男性が読み聞かせをする「メンズデー」を 6 月 24 日に行いました。

この日読み聞かせを行ったのは、児童のお父さんや地域の住民のみなさんです。各クラスに一人ずつが入り、この日のために選んできた本や紙芝居などを読みました。漢詩を読んだり、うちなーぐちを交えたりする方もおり、それぞれが工夫を凝らした読み聞かせを披露しました。

読み聞かせ終了後に津波古さんは「児童がとても喜んでいた。今年度、もう 1 回ぐらいはやりたい」と振り返りました。

土壌保全の日イベントを開催

土壌の流出を未然に防ぎ、土壌保全の必要性、土づくりの重要性について啓発を図ることを目的に「土壌保全の日」啓発イベント（中部地域農林水産業推進会議主催）が、6 月 24 日に西原町立図書館で開催されました。

イベントでは講習会が行われ、沖縄県などの専門家が流出防止対策の計画説明や現在の技術、防止策などについて解説しました。イベントには町内外の農家や農業関係者など約 70 名が参加。熱心に耳を傾けました。

なお、この日の天気はあいにくの雨だったため、予定されていた圃場での現地検討会は中止となりました。